

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【13】

2. 日時：令和3年11月2日 14時00分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、大野安全審査専門職、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁中村です。それではヒアリングの崩壊したいと思いますので説明をよろしく願いいたします。
0:00:11	中国電力のミナミダテです。よろしくお願いします。
0:00:16	本日のヒアリングは項目としては、使用済み燃料貯蔵槽の冷却能力及び使用済み燃料貯蔵槽の水深の遮へい能力の2項目がありますが、はじめに顔に項目続けて説明させていただき、その後、質疑応答といった形で進めさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。
0:00:37	規制庁ナカムラやつはそれで結構です。
0:00:42	ありがとうございます。では、資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、
0:00:48	NS II . 1046。
0:00:54	NS II . 1046 の括弧費、
0:00:59	NS II . 107047。
0:01:05	NS II . 1047 括弧費
0:01:10	NS通報 007 回 01-2 図となります。資料のほうよろしかったでしょうか。
0:01:19	規制庁ナカムラです。はいすべて 10 月 27 日提出資料でのごとでは大丈夫です。
0:01:27	はい。では使用済み燃料貯蔵槽の冷却能力についての説明があつて、能力の説明について、説明書の比較表及び補足説明資料を用いて説明させていただきます。
0:01:44	NUS II . 1046 括弧費、
0:01:49	6-1-3-4 表済み燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書の比較表をご覧ください。
0:02:01	使用済み燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書について他社との相違箇所を御説明させていただきます。
0:02:10	1 ページをお願いします。
0:02:15	ページ中ほどのb項について、柏崎 7 号との相違箇所になりますが、島根 2 号機では計算機プログラムを別途、6-5 計算機プログラム括弧A解析コードの概要について説明することとしております。
0:02:35	2 ページをお願いします。
0:02:39	一つ目の備考について東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機は燃料プールスプレイ系にて注水及びスプレイを行います。
0:02:50	二つ目の備考について東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機は 3 ポツ 1 評価方法に記載の通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:59	プール水の蒸発量を上回る注水を行うことを期待しております。
0:03:05	以降、
0:03:06	当該そういう箇所については①の総意として記載しておりますので、御説明は割愛させていただきます。
0:03:16	3 ページをお願いします。
0:03:20	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機は水または海水を燃料プール内燃料体等に向けてスプレーする設計としております。
0:03:33	以降、当該箇所については②の総意として記載しておりますので、御説明は割愛させていただきます。
0:03:42	三つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、東海第 2 は体系の放射性物質の拡散抑制について記載しておりますが、島根 2 号機は、
0:03:53	当該箇所箇所は技術基準規則 70 条に関わる記載なため、本資料には記載していません。
0:04:03	四つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、
0:04:08	東海第 2 は燃料プールに注水またはスプレーする設備の概要を記載しておりますが、島根 2 号機は、
0:04:15	鋭角の核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針に記載されているため、記載していません。
0:04:26	5 ページをお願いします。
0:04:30	ページ上段の備考について。
0:04:32	東海第 2 区の総意箇所になりますが、島根 2 号機は注水時スプレー時のどちらの場合についても、注水量スプレー量が、プール水の蒸発量を上回ることを確認しております。
0:04:45	なお、注水時及びスプレー時で同じ評価方法であるためまたまとめて記載しております。
0:04:53	6 ページをお願いします。
0:04:57	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では実績を踏まえた燃料体取り出し期間を等価としております。
0:05:10	二つ目の備考について。
0:05:11	東海第 2 及びかさ柏崎 7 号との相違箇所になりますが、1 取替分の
0:05:18	燃料体数に相違があります。
0:05:22	三つ目の備考について東海第 2 及び柏崎 7 号との相違箇所になりますが、島根 2 号機では評価に用いる試運転期間を 13 ヶ月として、燃料プールの崩壊熱量を評価しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:37	四つめの備考について。
0:05:40	はせがわ柏崎7号との相違箇所になりますが、評価に用いる使用済み燃料の崩壊熱に相違があります。
0:05:51	7ページをお願いします。
0:05:53	一つ目の備考について。
0:05:56	東海第2との相違箇所になりますが、島根2号機では注水及びスプレイを燃料プールスプレイ系にて行います。
0:06:05	二つ目の備考について。
0:06:07	東海第2との相違箇所になります。
0:06:10	島根2号機は可搬型スプレイノズル情報化常設スプレイヘッダのどちらの場合についても、注水量スプレイ量が
0:06:19	プール水の蒸発量を上回ることを確認するためまとめて記載しております。
0:06:25	8ページをお願いします。
0:06:27	三つ目の備考について。
0:06:29	東海第2との相違箇所になりますが、島根2号機では燃料プール形状寸法を模擬した試験設備で実施したスプレイ試験の結果により評価しております。
0:06:43	四つ目の備考について。
0:06:45	東海第2及び柏崎7号との相違箇所になりますが、
0:06:49	今日、3-1の崩壊について、
0:06:52	評価条件について相違があります。
0:06:57	五つ目の備考について。
0:07:00	柏崎7号との相違箇所になりますが、次ページの米三について、
0:07:06	島根2号機は燃料プールの最大貯蔵量の燃料が貯蔵されているものとして評価しております。
0:07:15	9ページをお願いします。
0:07:18	うん。
0:07:22	中ほどのb項について、
0:07:24	東海第2及び柏崎7号との相違箇所になりますが、
0:07:28	今日、3-2において、評価条件及び評価結果の相違があります。
0:07:37	1ページをお願いします。
0:07:42	一つ目の備考については先ほどの表と同様の相違です。
0:07:47	二つ目の備考について、東海第2との相違箇所になりますが、島根2号機では燃料プールスプレイ系にて、
0:07:55	注水及びスプレイを行います。
0:07:58	四つ目の備考について。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:00	ほか間に及び柏崎 7 基の相違箇所になりますが、島根 2 号機では、
0:08:06	燃料プール水の蒸発量は約 11.3 立米/hとなり、他社と評価がそうします。
0:08:14	11 ページをお願いします。
0:08:18	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では大量送水車 1 台で必要な流量に対して予定を満足する設計となっております。
0:08:32	二つ目の備考について柏崎 7 号との相違箇所になりますが、島根 2 号機ではサイフォンブレイク配管は 0 弁の隔離操作に期待することなく、自動的に
0:08:45	放射線の遮へいをいく遮へいに必要な水位以下にならないように、サイフォン現象を停止することが可能な設計としております。
0:08:53	また、島根 2 号機は逆止弁のボンネットにサイフォンブレイク配管を設置する構造としております。
0:09:01	12 ページをお願いします。
0:09:04	一つ目、目及び二つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では燃料プールへの注水を注水する場合の系統増へ図 3-3 及び図 3-4 に記載しております。
0:09:21	13 ページをお願いします。
0:09:25	一つ目の備考について 12 ページの備考と同様です。
0:09:30	一つ目の備考について、東海第 2 との相違になりますが、
0:09:34	島根 2 号機では、可搬型スプレインズルを用いた注水については担保 3a項に記載しております。
0:09:43	三つ目の備考は各社燃料プール水の蒸発量の相違です。
0:09:49	14 ページをお願いします。
0:09:53	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では考えたスプレインズル 1 台でスプレイを行います。
0:10:02	四つ目の備考について。
0:10:05	東海第 2 と層の層位箇所になりますが、島根 2 号機では燃料プールスプレイ系格好可搬型スプレインズルを使用して、燃料プールスプレイをする場合の系統図を図 3-3 に記載しております。
0:10:18	16 ページをお願いします。
0:10:23	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では常設スプレイヘッドを用いた注水には、
0:10:31	注水については、3 ポツ 3a項に記載しております。
0:10:36	17 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:40	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では常設スプレイヘッダについてモックアップ試験により、
0:10:48	高温燃料保管エリア及び低温燃料保管エリアへのスプレイ量を評価しております。
0:10:56	18 ページをお願いします。
0:10:59	二つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では燃料プールスプレイ系の常設スプレイヘッダを使用して、
0:11:10	燃料プールスプレイをする場合の系統図を図 3-4 に記載しております。
0:11:16	20 ページをお願いします。
0:11:19	一つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になります。
0:11:24	東海第 2 は考え方スプレイの 0 使用した燃料プールスプレイの系統図について別の箇所に記載しております。
0:11:33	21 ページをお願いします。
0:11:37	二つ目の見込みについて、東海第 2 との相違箇所になりますが、東海第 2 は常設スプレイヘッダを使用した燃料プールスプレイ系の系統図を別の箇所に記載しております。
0:11:51	22 ページをお願いします。
0:11:54	二つ目の備考について、東海第 2 との相違箇所になりますが、島根 2 号機では、
0:12:00	既設の燃料プール冷却系と最終ヒートシンクに熱を輸送するための設備である。
0:12:06	原子炉補機代替冷却系を組み合わせ、重大事故対処設備として使用します。
0:12:12	移行等がそういう箇所については③の総意として記載しておりますので、御説明は割愛させていただきます。
0:12:20	説明書については以上となります。
0:12:23	続きましてホスト補足説明資料を説明いたします。
0:12:29	資料番号 NS にこの 007 階 1 の通し番号を 5 から 32 ページとなります。
0:12:41	通し番号 7 ページをお願いします。
0:12:46	はい。
0:12:49	1 ポツとして評価全条件のうち、燃料取り出し期間及び停止期間の妥当性について記載しております。
0:12:59	過去の実績よりそれぞれの期間が妥当であることを確認しています。
0:13:05	通し番号 9 ページをお願いします。
0:13:09	2 ポツとして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:12	蒸発量の評価において、考慮する。
0:13:16	発熱減について記載しています。
0:13:20	使用済み燃料のほか、線源として、
0:13:23	使用済み制御棒がありますが、使用済み燃料の崩壊熱を比較し、小さいことを確認しております。
0:13:32	3 ポツとして、
0:13:33	スプレイ設備に関わる安全性向上のを記載しております。
0:13:39	次ページの(1)より冷却能力を評価しております。
0:13:45	通し番号 13 ページをお願いいたします。
0:13:49	4 ポツとして、原子炉補機代替冷却系を使用した燃料プール。
0:13:55	冷却系熱交換器冷却時の系統概要図を記載しております。
0:14:00	図 4-1 は屋外接続講師をした場合の図面、
0:14:04	図 4-2 は屋内接続講師をした場合の図面となっております。
0:14:10	奉仕番号 14 ページをお願いします。
0:14:13	別紙 1 として、燃料プールスプレイ量の評価について詳細を記載しております。
0:14:20	通し番号 23 ページをお願いします。
0:14:26	別添 2 として、燃料プールが蒸気で満たされた状態を仮定した。
0:14:32	年取り出し燃料の燃料被覆管表面温度を評価。
0:14:37	について記載してます。
0:14:41	通し番号 26 ページをお願いします。
0:14:46	別添 3 として、
0:14:48	弁料プールゲートのスロッシングに対する評価を記載しております。
0:14:52	冷却能力について説明は以上となります。
0:14:58	中国電力のフジキです。続きましてし、使用済み燃料貯蔵槽の水深な遮へい能力に関する説明書について冷却能力と同様に説明者の比較表と補足説明資料を用いて説明させていただきます。
0:15:14	それでは比較表の資料番号NS2.1-047 括弧費の 2 ページ目をお開きください。
0:15:25	2 ページ目は目次になります。目次ですが各項目の記載レベルについて、各社で証書差異があるところがありますが、記載項目内容として単位として大きな相違があるものでございません。
0:15:38	一番下の実践仮称時の被災実践を引かせていただいているところについてにつきましては、冷却能力のほうの説明がありましたけれども、島根 2 号機では別

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の説明資料として求めていることから、本説明資料の添付はしていないことによる資料構成の相違を記載しております。
0:15:55	3 ページ目をお願いします。
0:15:58	3 ページ目、1 ぽつ概要についてですが、まず
0:16:03	一番最後、一つ目のポツ記載表現の相違と記載しておりますが、島根 2 号機の目安とする線量率の被災地で島根 2 号機では二つね二つほど下のパラグラフに同様の内容を記載しておりますので、実質的な相違ではございません。
0:16:18	その下の注記部分の実線を引いてございます。柏崎の記載に実際を引いておりますが、こちらについて島根 2 号機ではサイフォンブレイカー配管の機能に期待しておりまして、隔離操作の完了を持たずして自動的にサイフォン減少停止することが可能な設計となっておりますので、
0:16:35	説明はそういうとして記載させていただいております。なお以下同様の項目に自由理由によるA層につきましては、①の総意として記載を簡略化させていただいております。
0:16:48	4 ページ目をお願いします。
0:16:51	2 ポツ、基本方針ですが、まず柏崎の記載の一つ目のパラグラフで実線のそういう箇所につきましては、前ページにて紹介させていただきましたサイフォンブレイカー配管の機能に期待するかどうかのによる相違によるものであり、ありますので、①の相違としております。
0:17:09	また柏崎の記載二つ目のパラグラフについても、
0:17:14	実線を引かせていただいている部分は一つ目のパラグラフと同じく、①の相違によるものでございます。そのあと波線が続いている部分の記載につきましては、備考欄のほうで記載方針の相違とさせていただいております。島根 2 号機においても同様に記載
0:17:31	漏えいの隔離操作や中性手段というものを設けておりますが、ここでは、プールの水深遮へいを確保する基本方針ということでサイフォンブレイカー配管の設計について記載しております。その点に記載の方針に相違がありますが、実質的な設備や運用の違いがあるというものではございません。
0:17:50	はい。
0:17:51	同じく記載経営基本設計が基本方針の二つ目のパラグラフ島根の記載につきまして黄色でハッチングしている部分がございます。こちらもともと補正の補正時においては、こちらの記載はサイフォンブレイク配管の
0:18:06	空気吸い込み高さが燃料プール冷却、冷却水供給配管の接続位置より高くなる設計とするというふうに記載しておりましたが、結果として期待する機能とし

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ては、現在記載している通りのプールの水位の低下、これがA配管の方もー1で停止するというので、
0:18:24	先行他社さんが書かれている記載の記載しているもの、そういったものではございませんので、変更を送らせていただいております。こちら際再補正予定反映させていただきます。
0:18:37	柏崎の一番下の実践についても同じ①の相違ということで
0:18:43	劣化させていただかいただいております。
0:18:46	5 ページ目をお願いします。
0:18:52	等 3 ポツ燃料プールにおける水遮への評価、それからここにも補正当初からの記載を変えている場所が黄色ハッチングで示しております。こちらの記載はもともとは燃料プール出口配管の取り付け位置と比較というふうに記載しておりましたが、こちら言わんとすることは現状の記載の通り、
0:19:10	漏えい停止後の最低水位と比較ということで得た者。
0:19:16	先行他社と機械川内容が変わるものでございますので、変更させていただいております。
0:19:26	同じ 5 ページの東海第 2 の記載の中ほど少し下のほうにあります 3 ポツ 1 ポツ 2 相済み制御棒
0:19:34	散歩提供オカ第 2 億。
0:19:37	中ほどにある実線についてですが、こちら評価の対象のそういったとして起債備考欄のほうに記載させていただいておりますが、こちら島根の 2 号機の制御棒ラックにつきましては、保管がプール底部の保管となっております、次が、
0:19:53	より浅い母の挙動版画家SEは同じプール底部ではあるんですが、福井の量のはるかに大きい使用済み燃料の影響、こちらに包絡されるため、評価対象としておりませんが、こちらは 1 以降丸いの相違とさせていただきます。
0:20:08	6 ページ目をお願いします。
0:20:10	6 ページ目、東海第 2 の記載に波線をつけさせていただいておりますが、こちらについては記載の箇所が違いますが同様の評価条件をこの後比較表 10 ページ目に記載しておりますので、そちらですねさせていただきます。
0:20:27	7 ページ目をお願いします。
0:20:30	7 ページ目 4 ぽつ線源それが線源強度の評価方法につきまして、島根 2 号機では文献値を用いてガンマ線の線源強度評価をしておりますので、こちら比較評価方法の相違として記載させていただいております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	なおに締まりに号機につきましても同様に解析コードを用いて感度解析を行い、現行の文献値の評価のほうが保守的な結果が得られるということは確認しておいて、こちらにつきましては、補足説明資料に記載してございます。
0:21:01	9 ページ目をお願いいたします。
0:21:05	いうページ目が使用済み制御棒の線源強度となっております、こちら評価の方法と先行他社と比べて特にと異なるところはございません。
0:21:16	続きまして 10 ページ目をお願いいたします。10 ページ目、こちら、所済み制御棒の評価条件
0:21:23	表でまとめているものになりますが、商社期間や貯蔵対数などプラント固有の条件がありますのでそちらが相違がありますけどそれ以外の評価方法や考え方について私と同様のものとなっております。
0:21:39	続きまして 13 ページ目をお願いいたします。
0:21:46	13 ページ目縛りの一つ目のパラグラフにある実線ですが、こちらと島根 2 号機の評価地点としては、人が線源に最も接近する場所として、燃料取替機床面評価地点としております。西縁並行距離を考慮しない部分保守的な条件というふうに考えております。
0:22:03	続きまして 18 ページ目をお願いいたします。
0:22:13	18 ページ目の(2)の一つ目のパラグラフですけれども、実線部として、地震といたしまして、設備及び運用の相違によるようになっております。島根 2 号機は隔離によらずとも、サイフォンブレイク配管の機能によって水位低下を停止できます。
0:22:31	また、事象発生後プール温度は上昇していきますが、上は蒸発が始まりよりも早く注水の準備が完了するため、最終的な水位の低下としては、基本方針にも記載しておりましたように、燃料プールの冷却系戻り配管の水平部下端位置までとなります。
0:22:47	この表で相違点については以下、③の相違と記載させていただいております。
0:22:55	続いて、
0:22:59	21 ページ目をお願いいたします。
0:23:03	2 種、
0:23:06	6 ポツサイフォンブレイカー配管の照射詳細設計方針ですが、しまえ 2 号機はサイフォンブレイクの機構が人配っております、逆止弁に配管を設置するような構造となっておりますので、設備の相違として記載させていただいて、
0:23:22	その下の 6 ポツ 1 評価方法について、サイフォンブレイク配管はstage II 機能期待しております。重大事故設備として、
0:23:32	耐震性の評価を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:34	これ以降のページで最後までこれまで紹介したものと同様の理由による、そういうふうになっております。説明者の比較表の説明については以上となります。
0:23:46	続きまして補足説明資料の説明をさせていただきます。
0:23:54	資料番号がNEC小児のほんの 007 回 01 の 30、
0:24:01	4 ページ以降になります。
0:24:05	33 ページで 1000 申し訳ありません、3334 は目標一文字でこれ割愛させていただきます。こちら補足説明資料は本体資料にない事項や、より詳細な図、図等を掲載している部分についてかいつまんで説明をさせていただきます。
0:24:20	通しページ 35 ページ目をお願いします。
0:24:23	1 ポツとしてサイフォンブレイク配管の設置状況を示した概要図を記載しております。
0:24:30	10 中ほど下の図 1-2 の通り配管の漏えいはAが起きた場合さ細部サイフォンブレイカー配管が基調に露出した時点でサイフォン現象が解除されまして、その水稲さんによって配管の水平部の下部の方のところまで推移が低下しますが、
0:24:48	ここまできたところで漏えいが停止するような設計となっております。
0:24:54	続きまして通しページ 37 ページです。2 ぽつとしましてサイフォンブレイク配管の健全性確認ホーム方法について記載しております燃料プール周りの巡視を実施することや、サイフォンブレイク配管の通信費所通水状況が確認可能であるということで記載しております。
0:25:11	続きまして 38 ページ、3 ポツとして、燃料プールサイフォンブレイカー配管への重量物落下について評価し、サイフォン効果の除去に影響を与えるようなものはないということについて記載しております。
0:25:25	続きまして通しページ 39 から 45 ページまで 4 ポツ燃料プール水位低下時の線量評価の計算について本文より詳細のモデル図等を用いて社債に出席評価内容を説明しております。40 ページの図 4-2 では
0:25:43	各線源と評価点の水平平面位置関係を示しております、評価点は線量の真上で直上に設定しておりますして隻距離を考慮しないような評価モデルとなっております。
0:25:58	42 ページ、図 4-4 に制御棒の実態、実際の保管状況とそれをモデル化したのが、右側に示しておりますして直交代のセンゲンに対して評価点が
0:26:14	上にあるというふうな評価モデルを用いて評価しております。
0:26:19	43 ページと 44 ページ図の 4-5 と 4-6 は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:26	燃料プールの水深の遮へいの遮へいの厚さと線量率評価点における線量率の関係を表しております、
0:26:35	14-6 では使用済み制御棒による寄与と所済み堰制御棒制御棒と燃料ものをそれぞれ
0:26:43	それぞれの気温について内訳が維持されておりますように言われてたっております。
0:26:50	続きまして、保守ページ 46 から 48 ページのポツとして、燃料プール水低下時の所済み燃料体の線量率評価について文献値による評価結果とORIGENつうコードを用いた評価結果をして評価について比較しております。
0:27:06	評価結果は 48 ページ目の表も、
0:27:10	防護の 3 に示しておりますように、文献値がひょうによる評価が
0:27:16	解析コードを用いた評価に比べて、より保守的な評価結果となっていることを確認しております。
0:27:33	以上となります。
0:27:46	規制庁の義崎ですけど、説明は以上で、
0:27:49	ということですか。
0:27:58	いけない。
0:28:10	規制庁の義崎ですけど聞こえてますか。
0:28:14	条例にコミュニケーション聞こえております。説明は以上でいいわけですか。
0:28:21	はい。説明以上になります。次の方よろしくお願ひします。はい、についての指摘ですけど、そう例では最小冷却能力のほうの説明書から最初からですけど、確認していきます。マスキング壊さないようにしていきますので、
0:28:39	そちらの方も注意してください。
0:28:45	まず最初比較表なんですけども、資料でいうと、NS2 の添付 1-04 ループの C引いての
0:28:54	表の
0:28:56	対象の 1 ページ目で
0:29:00	解析コード。
0:29:02	についてはもう次回っていうか、次の補正のときに、説明するっていうことなんですけども。
0:29:09	これ
0:29:10	要は先行プラント等の差異があるのかどうかというのは、
0:29:15	説明してもらえますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:19	中国電力のミナミダテです。と解析コードは先行電力と同じものを使用しておりますので、この場所に記載してあるの構成の相違ということだけでございます。
0:29:32	規制庁の融資整理さそうであれば何か相違ないってことを書いていただいた上で、その資料についてはそちらの何だ。
0:29:42	当解析計算機プログラム解析コードの概要について説明というふうには中には変わらないけれども、こちらのほうで提出した書類で説明しますというふうには備考のほうを、
0:29:57	続きしていただきたいんですけども、いかがですか。
0:30:02	承知いたしましたそのように備考のほう修正させていただきます。
0:30:07	はい、提示して了解しました。あとはですね、表で言うと、
0:30:16	5 ページ。
0:30:18	6 ページに飛んでいただいて、蒸発量の式が下のほうにあると思うんですけども。
0:30:26	各赤い 9 とか 潤通とか括弧してあたり入ってるんですけど、最初の年齢燃料プール熱負荷kW、ここで書いてないっていうのは何か理由があるんです。
0:30:56	すいません。もう一度教えていった質問よろしい。
0:31:04	聞こえますが、規制庁の義崎ですけど。
0:31:09	5 ページの
0:31:11	9 の蒸発量の下の諸元のところで、
0:31:16	スモール級の熱負荷のKWの数字が記載されてないんですけども。
0:31:22	これは何か書かない理由があるのでしょうか。
0:31:27	中国電力のミナミダテです。数値記載していないことについては特に理由がありませんでした。
0:31:39	規制庁に出席の下のほうの 9 とかいつそ書いてあるんで、同じように書いてもし何か機密情報とか該当しないだったら別に書いてもいいのかなと思ったんですけども、もしそうであれば明記していただきたいんですけども、どうですか。
0:32:00	中国電力のミナミダテです。すいません。先ほど特に意味がないと申しましたが、定数じゃないということで場所には記載しておりませんでした。
0:32:14	成長による出席するここでいいんになって計算のもとに使っている数値というのは、
0:32:21	提出じゃないけども、
0:32:24	明らかになった数字を入れていることですね。
0:32:28	中国電力のミナミダテです。その通りです。
0:32:34	そうであれば明確にさせていただいていいかと思うんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:38	いや何か特別な理由があるんだったらわかりますけど。
0:32:48	はい。
0:32:56	小中国電力のミナミダテです。少々お待ちください。
0:33:07	ここに書いてね。
0:33:48	中国電力のミナミダテです。
0:33:50	熱負荷については
0:33:54	3 ポツ 2 の評価条件のほうにで記載してはおるんですけども、ここにつきましては 3 ポツ 1 の場所につきましては、こちら評価方法のことについて記載している箇所になりますので、
0:34:08	もう記載していないと。
0:34:11	いう状況になっております。
0:34:44	ページ頁による成長日赤ですけど、どこの数字を持ってきているのかというのはわからないんですけども。
0:34:53	中国電力のミナミダテ、こちらにつきましては
0:35:00	比較表の 9 ページと 10 ページのほうに表の 3-2 棟を表の 3-3 を期待しておりますが、
0:35:08	崩壊熱の大きい停止中でありますと、この表の 3-3 の一番右下も
0:35:17	6
0:35:19	767 というところ持ってきてる形になっており、
0:35:52	はい、規制庁としてその今言った
0:35:56	停止中の 3-3 の一番下の合計の数字だと思うんですけど。
0:36:02	ここの数字が使われているっていうのが明示的に書いてないんで聞いてるんですけど。
0:36:08	耐専逆算するところ辺りになったからこれ使ってるんだってわかってるけど、
0:36:13	馴染むその後見ると、
0:36:15	わからないんで。
0:36:18	わかるようにして欲しいって言うだけなんですけども。
0:36:26	評価結果にもこの数字書いてあるんですかねこの数字使っています。
0:36:35	少々お待ちください。
0:37:12	中国電力のミナミダテです。
0:37:14	取っちょっと今書いている場所について確認を取っていませんが繋がりがわかるように資料の方修正したいと思います。
0:37:23	成長による指摘したさっき 3 ポツで評価方法だから書いてないっていうんだけど、3 ポツの結果ではそこが壊されていない結果が書いてないんで、どの数字使ってるのかっていうのを確認したかっただけなんでそこは

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:39	明確にしてくださいというのが趣旨です。
0:37:43	わかったんですか。
0:37:44	大丈夫ですか。
0:37:53	中国電力のミナミダテ。
0:37:55	結果のところ的实际数値を置いた計算式を入れると、資料のほうへ集積し、
0:38:02	わかりやすいようにしたいと思います。
0:38:06	規制庁SMSわかりました。
0:38:09	続けてなんですけども。
0:38:12	これはちょっと書きぶりだけなんでこれ備考で9ページの比較、比較の増えていたんですけども。
0:38:20	ちょうど一番上の8ページ9ページの間で、
0:38:26	信連量のスペースを考慮していないっていうところなんですけども。
0:38:32	実際そういうことってあるんですかね。
0:38:39	中国電力のミナミダテです。
0:38:42	燃料プールの中に
0:38:46	まず、
0:38:48	数本の新燃料が入っているということは、
0:38:51	ありますけれども、今回崩壊熱を評価するに当たりましては、新燃料が入っていない状況のほうが崩壊熱としては大きくなりますので、中国ふう電力としてはもうほぼ新燃料について
0:39:06	入れていると評価していないという状況。
0:39:10	整定累積ですか。
0:39:12	わかりましたけど一応保守的な評価になる例そういうことをしてるっていうことで、少し文言を追加していただきたいと思います。
0:39:23	備考のほうに、
0:39:26	中国電力のミナミダテです。承知いたしました。
0:40:02	うん。
0:40:03	規制庁のナカムラすみません先ほどの質問の回答として、市民のスペースを考慮していないっていうのは、もう消費燃料プラス新燃料のスペース。
0:40:21	っていうのを考えておられるのか、それとも使用済み燃料を満たしたもので
0:40:29	切り出したもので評価してるっていう考えなのかとかそちらを教えてくださいませんか。
0:40:39	中国電力のミナミダテです。
0:40:42	島根2号の燃料プールには最大等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:46	3518本の燃料入れるスペースがあるんですけども、そこをすべて使用済み燃料で満たした条件で評価しているといったものになっております。
0:41:02	規制庁の破碎わかりましたらでございます。
0:41:09	続いてのヨシザキです。ちょっと細かいことなんですけども、9ページの表の3-2の
0:41:16	燃料というスキームで一番上の、これは別にしてもいいのが106台。
0:41:23	これは、
0:41:25	なんで106. っていう理由はあるんですかね。
0:41:30	中国電力のミナミダテです。
0:41:32	こちらの3-2につきましては原子炉運転中の表になっております。
0:41:38	としますと、燃料対数オーケーで2958たいというふうに記載していますが、これが
0:41:49	炉心に
0:41:51	入っている560本を燃料プールの最大貯蔵数の
0:41:59	3518分から引いた値になっております。
0:42:02	こちらで下のほうから
0:42:06	冷却、
0:42:08	冷却期間が短いものから下に期待してあるんですけども、下から毎定検ごとに124対抗抜いていった形で評価していきますと最後23サイクルのところで残りが106本というようにありますので、この一番上の23サイクルの
0:42:26	却済み燃料については106本というような期待をしております。
0:42:32	成長による出席、今の説明でよくわかりました。逆算していくんですね、maxから聞いてそれから定検ごとに124で聞いて再度残りで23サイクル目で106ということでした。
0:42:50	規制庁の中根さんの同じページの表なんですけれども、
0:42:55	崩壊熱ですね、ちょっと私の計算が誤ってございます。ですけど、バス等もお金数の合計が、
0:43:03	1.591
0:43:05	うんなる気が付いたんですけど。
0:43:08	次のページの表3の閾門を足すと6.766になる気がしてですね。
0:43:16	それ北海にくだいてこれで四捨五入やら何やらをされた結果、各サイクルでこの辺りになって、それからカトウの数字になると思うんですけど、そこら辺はなかなか考えて
0:43:32	数字になったのかとさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:36	中国電力のミナミダテです。ナカムラ様の御理解の通り、各 1 サイクルから 24 サイクルまでの崩壊について、今記載しておりますのは少数以下 3 桁になっておりますけれどもこれ以下小さい数字がございます。
0:43:54	これらを足した上で都市、
0:43:57	崩壊についてので安全側に切り上げたものが最後合計値として記載しているものになっております。
0:44:07	規制庁ナカムラです。わかりました。これだけ見ると、その計算が違ってるんだってということもあるというふうにもとらえかねないので、その辺もうちょっとわかるように、中期や何やで記載をしていただけますか。
0:44:25	中国電力ミナミダテです。承知いたしました。
0:44:30	規制庁の義崎です。こういった数字の丸め方っていうのは、最小のヒアリングも言ったので、同じような指摘を受けないようにあらかじめそのそういう処理してるんだったら、備考に書いていただくなり、説明をするなりしていただけますか。
0:44:47	今後のヒアリングでも、
0:44:51	中国電力のミナミダテです。申し訳ございませんでした。そのようにヒアリングのほうを進めるようにしたいと思います。
0:45:01	はい、お願いします。
0:45:03	続けている規格の 11 ページで、
0:45:07	注記のところなんですけども。
0:45:11	高齢何だ大量送水車の容量として記載している限りインチってあって、
0:45:18	この込みを見ると、前のページの約 48LIBOR以上。
0:45:25	の補給能力って書いてあるんですけども。
0:45:28	このように 80%、5、
0:45:31	送水大量送水車の下限値になるってことですか。
0:45:40	中国電力のミナミダテです。
0:45:43	この 48 立米といいますのは本会の後任について
0:45:49	使用します。その各系統の必要流量がありますがその一番小さいものになっております。
0:46:00	聞いてみ出席だーじゃちょっと改革言い方。
0:46:03	質問を変えるとですね
0:46:05	どこの流量を言ってるのかって言うんで、スプレイの流量なのか、大型送水ポンプ車の出口の流量なのか、これはどっちを示しているんですか。
0:46:40	少々お待ちください。
0:47:02	中国電力のミナミダテです。設工認の資料で書いてます

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:09	必要なスプレイ流量として 48 立米ですのでその辺りとして 48 立米を書いております。
0:47:27	規制庁の義崎です。そうするとここに書いてあることって何か違ってませんか。
0:47:51	少々お待ちください。
0:48:42	中国電力のミナミダテです。すいません。少し繰り返しになるかもしれませんがちょっとご説明させていただきますと、大量送水車。
0:48:52	設工認においていろんな系統で使うんですけれども、その中で、
0:49:01	今回スプレイに必要な流量としては 48 立米がありますので、この 48 立米以上の注水能力を持つ大量送水車を
0:49:13	設置することで、いろいろその蒸発量を上回る注水が確保できるという記載になっております。
0:49:37	規制庁ナカムラですとこの下限値って記載大量送水車のっていうふうになっているんですけど、本当の可搬型スプレイノズルの容量設定のときの下限値ということではないんですかね。
0:49:56	はい。今御理解の通り、大量と燃料プールのスプレイを使用するときの下限値となっております。
0:50:08	規制庁ナカムラです。それが一つの表現ですと大量送水車の鍵時期があるんですけども、一つのちょっと意味が若干変わってしまうので、
0:50:20	それを使う場合の容量の下限値がそういう免責わかるような記載ぶりになりません。
0:50:44	中国電力のミナミダテです。承知しました。では、ちょっとそのような形で修正させていただきます。
0:50:54	システムのヨシザキです納得してないようなんですけど、これあのポンプの下限値じゃなくて、可搬型ツリーの図の下限値だと思ってまして、だったらそういうふうに記載すべきではないのかなと考えたんですけども、そうではない。
0:51:35	中国電力のミナミダテです。
0:51:37	誤解を生む期待だということを理解いたしましたので、系統の能力として 48 立米。
0:51:46	オカ現地としているというような形で修正のほうさせていただきます。
0:52:00	よろしくお願いします。よろしくお願いします。ちょっと確認する下限値って書いてあるんですけど、半部スプレイのてるって、48、25 では出せないと思ってよろしいですか。
0:52:21	中国電力のミナミダテです。
0:52:23	羊蹄的にはまだ余裕というのはあるんですけども、48 立米で試験をして燃料プールの燃料体等にきちんと燃料棒がああした中で注水したスプレイが掛

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	かるようにというところを確認しておりますので基本的には 48 立米スプレイするというような形になっており、
0:52:47	承知しました 48 平米以上あれば、条線は注水が確保できることと、48 で合わせてもして確認した大LOCAでは値として、設定して形認識なりカトウ理解しました。はい。
0:53:10	規制庁の析出関連して少し飛ぶんですけども、比較の 15 ページ。
0:53:18	これはどのマスキングなんていうんですけど、スクリーン量の机上のところ、
0:53:24	高齢数字変わるんですけども。
0:53:27	大飯はこれが条件だから、ポンプのスペックはもっと高いっていうふうに考えていいですかね。
0:53:37	中国電力のミナミダテです。ご理解の通りです。
0:53:43	規制庁の義崎です了解しましてそれともう 1 点なんですけども、このスプレイで霧状って書いてあるんですけども、この霧状になる、圧力って何何メガとか、そういう条件でありませんでしたっけ、もしあるんだったらそれも確認しないといけないと思うんですけども、御説明お願いします。
0:54:03	中国電力のミナミダテです。すみませんちょっと今頭にポンと数字が浮かんでこないんですけども、スプレイのスプレイたんで必要な圧力というものがありまして、そちらの圧力を担保した上で、その系統として圧損流量等を
0:54:20	担保できることを確認しています。
0:54:25	規制庁のヨシザキで僕は確認しているのであれば少しそれがわかるように明示的にしていただきたいんですが、よろしいですか。
0:54:37	中国電力のミナミダテです。承知いたしました。
0:54:43	中撮ですお願いします。
0:54:46	あと何か。
0:55:01	規制庁、中村で静的格納受けページの評価結果のところ、
0:55:08	一番下のところですね蒸発量約 10.32 でやってるんですけども、この設置許可等 11 件 40 やったんですけども、違いは何か御説明いただけますか。
0:55:22	。
0:55:24	中国電力のミナミダテです。
0:55:27	設置許可におきましては、
0:55:30	この使用済み燃料燃料プール内の燃料についてMOX燃料及び当島根 1 号機の燃料も含めた上で、崩壊熱量を計算しまして崩壊熱ように必要な
0:55:46	スプレイ流量と蒸発量として 11.4 立米を記載しておりました。しかし島根 2 号設工認におきましては、MOX燃料及び一文燃料のことを考慮をしておりますので、当初申請しておりませんので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:03	そのため、今回設工認における崩壊熱量は、
0:56:09	9 掛け 9 燃料、
0:56:12	ごみとして崩壊熱を経管しております。そのために
0:56:18	この崩壊熱量が変わりまして、それに伴う
0:56:21	燃料プール水の蒸発量が変わっていくというような状況になっております。
0:56:30	承知しました。isね口側まではいかないかもしれないんですけど、備考欄とか何かわかるように、それが記載があるとありがたいと思っておりますので、コアの記載をここでいただけますでしょうか。
0:56:50	中国電力のミナミダテです。承知いたしました。
0:57:05	中国電力カトウですけども、先ほどの件につきまして、設置許可との相違点をこの資料で示すということでしょうか備考欄等で、
0:57:37	規制庁の義崎ですけど、別途説明するところがあるんだったらそれはそれでいいんですけども、そういう意味ですか。
0:57:47	はい。
0:57:51	中国電力カトウです。そうですね、ちょっと気になったのが、設置許可との整合性東三これら確認する資料ではなかったもので、同期貸与しようかなとちょっと思った次第で確認させていただきました。なので備考欄で少しその辺がわかるようにさせていただければと考えております。以上です。
0:58:12	規制庁の義崎です設置許可との整合性のところで説明をされるっていうそういうことですか。
0:58:24	中国電力カトウですが、そこまで今検討ができてないので、まずはこちらの資料で明確化させていただければと備考欄で明確にしたいと思います。以上です。
0:58:39	とりあえずはこの備考で明確にしておくということですね、そのごろ許可との整合性で離れるかもしれませんが、それでわかりました。
0:58:52	中国電力カトウですはいえっとその後の資料の作成の中でよい場所があればそこでは明確にできればいいかなと思っております。以上です。
0:59:03	了解しました。
0:59:22	1 点ちょっと説明お願いします比較表の 17 ページ。
0:59:27	なんですけども。
0:59:29	はい。
0:59:30	規制庁のです。比較表の次のページお願いします。
0:59:36	17 ページの(2)常設スプレイヘッダの上から二つ目で 2 炉心分の燃料が貯蔵されエリアに対しCというところなんですけど、これに炉心弁反応に共通するされるエリアについて特出した理由をちょっと説明してください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:56	では、っちゅ
0:59:58	中国電力のミナミダテです。
1:00:00	そちらにつきましては、少し補足説明資料を使用して説明したいと思います。
1:00:06	資料はNUS II のほうの 007 回
1:00:11	1
1:00:12	そちらの
1:00:16	12 ページを通し番号 12 ページをお願いいたします
1:00:24	はい、開きました。
1:00:27	はい。
1:00:28	こちらですね
1:00:30	分散配置パターンでというものでさんの家図の 3-1 と 3-2 のほうに期待しておりますけれども、こういう燃料取り出したばかりの高温燃料を保管する場所につきまして、
1:00:46	冷却性能を担保するため、要は近く地殻と隣同士に熱い燃料が、
1:00:55	あることを避けるために、このような一抹模様えと今回この図で言いますと、オレンジ色、黄色かオレンジ色に示しているところにとこう燃料を置いていくと。
1:01:07	ような状況になっております。ですので、
1:01:11	はい。
1:01:12	ちょうどこの候補において徹底隣に冷えた燃料を置くということになっておりますので、
1:01:20	炉心から全 1 炉心分を出したときに、2 炉心分の範囲が必要になるということで 2 炉心分というような記載をしております。
1:01:30	規制庁のです。一抹パターンで燃料配置するのはわかりました。これは社内規定等でそのような運用に決まっているということでしょうか。
1:01:49	中国電力のミナミダテです。今後そのような運用にするような予定になっております。
1:01:58	規制庁の周わかりました。それは特に設置許可段階そういう話を足してないってことよろしかったですか。
1:02:10	中国電力のミナミダテです。設置許可段階でもこの
1:02:16	方面領域について日本新聞以上確保しているといいますのは、設置許可のまとめ資料 54 条の補足説明資料のほうには記載しております。
1:02:27	規制庁の窃盗運用上そういう運用をとるとするのも書いてあるという理解でよろしいでしょうかすみませんちょっと今その補助のまとめ資料持ってないんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:38	配置をこのように考えているということは説明をしてたんですけども、今後の運用についてまでは明示はされていません。
1:02:48	規制庁Sわかりました。すいません、54条まとめ資料の何ページか教えていただいてよろしいですか。
1:02:58	申し訳ございません、今、こちらも
1:03:01	資料を用意してございませんし、ちょっとページまでは、
1:03:05	わかりましたであればきちっとSAであれば計画をですね、その分のカトウですと補足説明資料の54-6-7ページをご覧ください。
1:03:19	56規制庁2000ありがとうございます少々お待ちください。
1:03:34	規制庁S鉄塔今この資料の記載が確認しました。2炉心分においてもですねそれがわかるように何か補足経営込みかなんかで、記載をお願いできますでしょうか。
1:03:49	中国電力の加藤でございます。そうですね、54条の6-7ページの米2と同じような記載を考えたいと思います。以上です。
1:03:59	きちっとメスありがとうございます。もう1点ですか。ちょっと四角囲みの中になるので、いずれですけども、比較表の16ページをお願いします。
1:04:20	比較表の図16ページの図3-2の燃料プールにおける可搬型スプレインズルの設置とつくり部。
1:04:27	の話なんですけども、ですね。
1:04:31	何て言えばいいか。
1:04:37	はい。
1:04:38	はっきりすかね。ラックの一井が明記されてないので、明記してください。
1:04:50	いかがでしょう。連絡のみ
1:04:52	失礼しました中国電力のミナミダテで申し訳ございません少し見にくいかと存じますが、この
1:05:00	図の中にですね、1点破線のほうで、
1:05:06	ちょっと薄いですけども、
1:05:07	はい。
1:05:08	記載しております。それには気づいてだろうなと思うんですけど、それで凡例も何もないので、はい。わかるように記載を充実していただければと思います。
1:05:21	中国電力のミナミダテです。判例等を記載することを承知いたしました。
1:05:33	あと、規制庁S一遍ちょっと発行じゃなくすいませんが、
1:05:40	添1-046のほうの3、通し番号3ページ。
1:05:45	お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:50	3 ページの一番下の(2)スプレー時のところなんですけども、燃料酸素損傷時にできる限り補正物質の放出を低減することについてもスクール医療が2 通過による蒸発量もあることを確認するということなんですけども。
1:06:07	来生物の放送低減するためには蒸発量を
1:06:14	上回っている必要があるんですけど、これ
1:06:19	これを確認するために、蒸発流量は丸、もちろん
1:06:24	水は下になれば
1:06:27	的にできるのはわかるんですけど、この判断基準にした工程考え方について教えてください。
1:06:36	中国電力のミナミダテです。こちらのスプレーGといいますのが基本的に
1:06:43	大規模損壊等でプール内に水がないような状況を想定してございます。その場合、プール全体がプール燃料全体にスプレーすることで、その叩き落とし効果は、
1:06:56	放射性物質の叩き落とし効果をねらっているものでございます。
1:07:02	実際この叩き落とし効果がメインの効果になるんですけども、ただ弁当スプレー量自体も崩壊熱の熱負荷よりもさらにプラスアルファとして崩壊熱を上回るスプレー量を
1:07:19	できることについても確認しているといった趣旨になっております。
1:07:25	規制庁です。
1:07:27	これはあれですか。蒸発量は回らなく上回らないと水蒸気停止にどっかに行っちゃうからそういうわけではなく、
1:07:38	何とか目安として蒸発量終わればいいのかと考えているということですか。
1:07:49	中国電力のミナミダテです。
1:07:55	まず叩き落とし効果っていうのが第1にあるんですけども、仰られた通り、蒸発量を上回ると注水量をすることで燃料体を冷却することができますので、その点についても考慮しているといったことで、
1:08:28	はっきりと思うんです。わかりました。
1:08:36	規制庁中村です。比較表の
1:08:41	8 ページが、
1:08:44	8 ページの頭のところで、このページからですけど、あの可搬型スプレーノズルの首振り角度っていうのはあるんですけど、首振り移動できるようなものになってるということよろしいですか。
1:09:00	中国電力のミナミダテですが、御理解の通り首振り、
1:09:06	 できるものとなっております。そちらにつきましては補足説明資料、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:14	の
1:09:16	補足説明資料通し番号 14 ページのほうに期待してございます。
1:09:23	失礼しました巡回角度を [] です。
1:09:31	規制庁の話今マスキングですけど大丈夫ですか。すいません。申し訳ございません。今のところ
1:09:39	取り消していただきたいと思います。
1:09:43	規制庁長さわかりました。
1:09:45	それでいいと反応度調べておいたら基本的には水を流す質問で人手を介さないかなと思うんですけど、これは中期通水したら上で首振るという形でよろしいですか。
1:10:02	中国電力のミナミダテです。ご理解の通りです。
1:10:07	承知しましてありがとうございます。
1:10:12	規制庁の義崎です。
1:10:13	比較表の
1:10:18	ここで、
1:10:20	企画書の 17 ページ。
1:10:24	先ほどちょっとオオノの質問とかぶるかもしれないんですけど。
1:10:28	17 ページの備考の真ん中のところで、島根モックアップ試験により高温燃料エリア及び
1:10:37	低温面量放管エリアへの膨れ量評価していたんですけど、これは具体的にどこどこがより上げて、
1:10:50	中国電力のミナミダテです。黄門燃料エリアといいますのは、取り出したばかりの燃料集合体のことを指しています。そして提案燃料でといいますのが、
1:11:03	前回、以前に取り出した燃料を保管してるっていうことになっております。
1:11:12	軽重により積層それほどどこになるんですか。
1:11:20	中国電力のミナミダテです。
1:11:23	補足説明資料の
1:11:33	補足説明資料通し番号 22 ページを
1:11:37	お願いいたします。
1:11:39	はい、見ました。
1:11:41	1、図 1-9 になりますけれども、この
1:11:49	ラックの形状を模擬して色をつけてます部分において、
1:11:54	緑、
1:11:57	練られている箇所がとこう燃料を、
1:12:02	のに必要なスプレイ流量を満足する範囲となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:07	そしてこの
1:12:08	一つ内側に黒で線を引かせていただいておりますけれどもその中がとこう燃料を、
1:12:16	ことができるスプレーとなっております。
1:12:29	規制庁ナカムラです。それではそのような高温燃料エリアっていうのは、ここに設定したからそこにスプレーを両方満足するようなガスっていうことでなくて、スクリーン両方満足するエリアを高燃料エリア設定して、そこにちゃんと取り出したばかりの燃料を置くって理解でよろしいですか。
1:12:52	中国電力のミナミダテです。ご理解の通りです。
1:13:11	規制庁の中村さんのそれでしたらフォーミュラの設定の根拠とか、そういうものが附属にもし今あれば申し訳ないんですけども、機会多いことから、今のだと
1:13:28	黒い線で囲んなものが燃料エリアっていうのもちょっとよくわからなくてですね。
1:13:34	ほんでのどういう条件で設定して高温燃料行けるように設定集中説明は補足にあれば、ありがたいんでよろしくをお願いします。
1:13:48	中国電力のミナミダテです。補足説明資料の 19 ページになるんですけども、
1:13:57	ここにおきまして
1:14:01	ここのDぽつ項ですね、評価結果としましてええと。
1:14:07	掘り出し直後の高燃料域等低温燃料域にそれぞれ等必要スプレー流量のほうを記載しております。そしてこの
1:14:18	スプレー流量を満足するエリアとして、
1:14:24	補足の 22 ページに記載しておりますけれども、表の 1-4 でこの高年領域低温領域それぞれ
1:14:33	単位面積あたりの必要スプレー量が先ほど説明した表の 1-2 棟同じ数値が書いておきまして、これに対して範囲としては高年領域では 3.6 号炉心で前
1:14:49	燃料ラックとしては、アート低温燃料域としては前
1:14:54	燃料ラック、先ほど説明した高温燃料域外の部分ですねということで記載しているような状況となっております。
1:15:02	次につきましても、緑と青とでそれぞれ凡例のほうを記載しておりますが、いかがでしょうか。
1:15:18	はい。
1:15:19	規制庁ナカムラですと、今まで一つのスプレー流量しかこの図からはちょっと読み取れなくてですね、ここがエリアっていうのがちょっとよくわからない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:32	渋滞か説明になっているので、そこははっきりしていただきたいなという趣旨でちょっと質問を言わせていただいているんですけども、いかがでしょうか。
1:15:45	中国電力ミナミダテです。
1:15:47	確かにおっしゃられるる通り、具体的に高温燃料エリアがここですという形は記載しておりませんので、その辺、明確にわかるように修正させていただきたいと思います。
1:16:02	規制庁の融資選別そもそもそういう趣旨で聞いてるんで、こう寝るエリアと低温放火エリアはどこでそれに対してどこまでがグレーで流量が満足してるっていうことで、ナイトウ高齢者の
1:16:18	満足してるっていうのはわからないんですよ、対象がどこでそれ委員会に対して黒枠のことの説明って何も
1:16:27	この会でないと思うんですけど、そういったところで、他のエリアの対象範囲を明確にした上で、ここまでスプレイするので満足してます。そういう説明であればわかると思うんで記載を充実させてください。
1:16:45	中国電力のミナミダテです。承知いたしました。
1:16:51	規制庁の中村です。株主ですけど。
1:16:56	ちょっとイメージがあってね補足の 20 ページの
1:17:04	冒頭試験設備の概要という形でプレートの記載があると思うんですけども、これ実際に取り付けられるときもスプレイヘッドはこの 1 と思うってのところそういう考えということによろしいですか。
1:17:26	中国電力のミナミダテです。
1:17:30	基本的にはこのような場所をこれの実機を模擬した形で試験しているものですのでこのような位置につけられているものです。
1:17:45	規制庁の中村です。それですと、ちょっとすみません
1:17:49	22 ページの図で、これ基本的には
1:17:56	高温燃料のエリアのほうが
1:18:00	入る流量が大きいと思うんですけど、ちょっとレーダーの位置とほぼ揺るがを 1 っていうのはちょっとリンクしてないっていうのはちょっと思っていて、そこは試験で確認された。
1:18:17	結果としてこうなってると思うんですけども、そこがどういうもう少し細かいところは説明いただければなと思ってまして、ちょっと御説明いただけますか。
1:18:34	中国電力のミナミダテです。ご理解の通り、実際この試験した。
1:18:40	試験結果によってはコンタ図を引いているものにはなってございます。
1:18:46	摩耗試験してなんですけれども、双方からのスプレイしたときに、
1:18:54	その前後の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:56	スプレーがぶつかり合ったりとかですね、
1:19:00	そういう条件によってこのような結果が生まれたのではないかと考えております。
1:19:21	規制庁の出席ですけど、今常設スプレーヘッダの流量がぶつかり合うってのはそれはなんていうか、そういう設計通りというか、輸送していることなんですかね。
1:19:47	はい。そのようになっております。
1:19:55	規制庁の義崎早々そのなんていうか、細かいところの／流量調整というか
1:20:03	スプレー減ったの設計しようという設計を幾つかそういう考え方のところはどっかに書いてあるんですかね。
1:20:19	少々お待ちください。
1:21:15	中国電力ミナミダテです。
1:21:18	常設スプレーヘッダにつきましては、流量としては、
1:21:24	120 立米/hとして設計しております、
1:21:28	まず、
1:21:30	実際設計。
1:21:33	日程、
1:21:35	作られたスプレーノズルを模擬試験しまして、この模擬試験の結果、
1:21:44	本年領域として必要な
1:21:48	エリアについて2炉心分以上確保されているといった状況です。
1:22:17	成長による出席ですけど、22 ページのそのコンター図があるじゃないですか。その棟にスプレー水がサンプというか、その作りされるように、
1:22:30	なってるかどうかこれが本当にちゃんとさ、
1:22:34	設計通りのコンター図上あるのかっていうのが聞いたかったんですけども、そこは、
1:22:40	どうなんですか。
1:22:59	中国電力ミナミダテです。
1:23:05	設計として今
1:23:08	補足説明資料 22 ページの図 1-9-
1:23:13	エリアを想定して
1:23:16	設備を作っているということではなく、設備として、
1:23:21	120 立米/hで注水スプレーする設備を、
1:23:27	作成しまして、そちらを用いて、そちらのモックアップを作成して試験した結果として、
1:23:35	結果として図 1-9 の範囲が得られたと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:42	タイについて 2 炉心分以上確保されているので、今後
1:23:49	こう燃料域の範囲に取り出し直後の燃料は置いていくことで運用を考えていくとそのような状況になっております。
1:24:11	規制庁の水崎ですけど、これはモックアップの状況だから、高高令和行ったけども、別途 120 立米/hでスプレイの能力で、
1:24:23	央分離客できるような配置ディスプレイのヘッダーを送ってそうそういうことですか。
1:24:33	中国電力のミナミダテです。この試験自体が実況を模擬したものになっておりますので、試験自体も流量としてとしては 120 立米/hよう実機で使用する条件において試験をしております。
1:24:49	ですので、実機でスプレイした場合もこのようなほんと、このようなスプレイ
1:24:58	分布に
1:24:59	なるほど。
1:25:00	いうところで確認しているものでございます。
1:25:11	規制庁ナカムラ生徒モックアップ試験でこういう懇とか、
1:25:16	結果のセットれたので、その高温、
1:25:20	燃料域エリアには日本新聞あるので、実機でもこうなるから、人惜しむ確保できているので、そこに燃料を置くようにするっていう形ですかね。そう。そう。
1:25:38	中国電力のミナミダテ素子理解の通りです。
1:26:20	これ、
1:26:21	規制庁の義崎ですけど、すみませんなければいけないんですけど、このコンタ一図で緑と青のところがありますよね。青のところ、高温燃料を置かないようにする、そういう設計っていうことですかね。
1:26:40	はい、ご理解の通りですねと、青の部分につきましては、前回以降に取り出した、もう人サイクル以上冷却された燃料を置くことになります。
1:27:35	規制庁日赤少し教えて欲しいんですけど、形がですねなんかで含ま性正方形というか少し何ですかね。
1:27:45	偏った形になってますよね。これは何でそういうふうになってるかってのは説明できますか。
1:28:12	中国電力のミナミダテです。申し訳ございません。
1:28:17	単純に試験結果として出ているものですねちょっとなぜこのような形になるのかというところは考察できていないところになります。
1:28:35	規制庁の出席する交錯しなくていいですかね、考察して

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:42	補足的にそれを考慮した配置にするってことなんで、それは実測した値でやるわけなんでこうなったかというのは、事業者として、お店といけないと思うんですけどいかがですか。
1:29:18	中国電力の加藤でございます。少し前の試験になりますので、ちょっと過去の経緯等を結果等をまた確認させて整理をしておきたいと思います。以上です。
1:29:29	静聴に責任を控除節理たり何やってるんでしたっけ、非常にでしたっけ。
1:29:38	中国電力のミナミダテです。弊社の常設スプレィヘッダのほうは一覧になっております。
1:29:46	PHITS日赤です。うんは少し
1:29:50	放出する場な固めちまう団地がですねやってるんで、何か議題になってるのかなとか思ったんですけども少し昔の
1:30:01	試験の状況だとか、調整の仕方とかを考察していただきたいと思います。
1:30:08	私から以上です。
1:30:21	規制庁中村です。それを徳間こういうそういうことの評価の違いのところなんですけど、6 ページで、
1:30:32	真ん中下、Pdこそどころで足かけオオノページのbごとのところで、運転期間13ヶ月選考等評価条件は違っている理由を御説明いただけますか。
1:30:51	中国電力のミナミダテです。締まり大きなは設置において検査、
1:31:02	と評価していた。
1:31:04	なります。
1:31:14	地域の出席者の設置許可の値を持ってきてるのはわかるんですけど。
1:31:19	ほかの再処理簿間違ふ理由は何ですかねっていう質問なんですけど。
1:31:28	その設置条例の山でございます。
1:31:31	赤のこの設置許可でお示してるような
1:31:37	炉心解析等は基本設計を確認する。上での解析例でございまして、
1:31:46	特段そもそもで何ヶ月で評価しなさいというような規定等はございませんで、
1:31:53	はい。
1:31:54	そのようなものは、サイクル場合サイクルで統括する取替炉心の安全性評価等で担保するものであって、基本設計においては入ってある程度の運転期間を想定して解析例をお示しすると。
1:32:12	ようなそういうものでございますので、
1:32:16	そのような考え方にも基づきまして、
1:32:21	中国電力におきましては、従前から13ヶ月の解析例として、設置変更許可の段階で事業を実施してフラグな説明をして参っていて、これも後のものでございます。御説明は以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:32	規制庁の義崎ですけども、設置許可でそうやってるかってのはわかったんですけど先ほど最初の御説明的に福祉試運転とかって聞いたんですけども、試運転期間が
1:33:45	入るから。
1:33:46	13 時つつう端ではないんですかね。
1:33:52	いや、特段沿って 13 とか 14 とかっていうのにある程度査定元気なところで炉心冷却性を進めするということで、
1:34:03	本当に 13 であっても自分であっても、
1:34:06	炉心特性のあんまり影響もございませんし、このようなフィッティングに対しても出てございませんので、どちらでもいいものというふうに考えております。
1:35:02	規制庁の S、A 点をお願いします。
1:35:06	比較表の 8 ページ開けください。
1:35:14	比較表の 8 ページの表 3-1 の中期経営※1 なんですけども、経営他社は実績によりもっと短い日数で設定していて、
1:35:25	で島根 2 号機は実績を踏まえた日数で設計していますとで補足説明資料を読むと、どうやら 49 日の停止期間の実績があったらしいけれども、
1:35:37	これは 40 検知も大丈夫だっていうのはそこに書いてありましたけど、50 日としている理由を教えてください。
1:35:47	はいで売れるヤマモトでございます。
1:35:51	あの括弧の数サイクルで言いますとこのように
1:35:56	ごくわずか短くなるような、そのような定期検査期間があったのは承知しております。
1:36:04	ただ今回もそもそも設置変更許可において有効性評価の条件を検討するにあたって、
1:36:12	そのようなときっていうのは電力業界を挙げてですね。定検短縮に取り組んでおりまして、今現行の検査制度のもとですとですね、そのような運転期間の定期検査というのは基本的にも成立しませんので、
1:36:30	50 日と設定してもよからうというふうに話してございます。以上です。
1:36:50	いや、1 棟はわかるんですが、
1:36:55	なんかゆるめているように見えちゃうんですよねなんか、
1:37:01	49 だと切りが悪くて警察行くとかそういうわけで、
1:37:05	だったりするんですか何かどうせなら 49 でやればいいのに等を考えるんですか。
1:37:12	中電も全部可能。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:15	特段そこに特別ナイトウはないんですけれども、二つそもそも性評価というのは、ベストエスティメイトですねってところから出発しまして、このある程度黄色い冬というところをご利用選択しました。以上です。
1:38:16	規制庁SAわかりましたありがとうございます。
1:38:41	規制庁ナカムラですと、それに遮へいに行きたいと思えますけどもよろしいですか。
1:38:54	中国電力で掲載よろしくお願ひします。
1:38:57	それらの写真がこれを明確なんですけど、系統機関でしょうね。①搬送とか、或いはそういうふうにあると思うんですけど、それっていい値か。
1:39:12	そうすると、比較表のところに類型化したものってのは何か一覧で記載があるものもあったと思うんですけど、それが無いってのは何か言う回るんでしょう。
1:39:31	記憶にフジキせ申し訳ありませんつけさせていただきます。以上です。
1:39:37	規制庁なんかまずよろしくお願ひします。あと比較表の4ページ。
1:39:44	になるんですけど、場所として黄色英語で書かれた部分ですね。
1:39:51	燃料プール冷却系戻り配管CL下端位置で提出する設計とするっていうふうに記載があるんですけども、
1:39:59	比較表の20ページ。
1:40:06	20ページの図5-4の推移低下位置だとサイフォンブレイク配管の
1:40:14	パターンだつてで図を見ると、
1:40:18	透水性預金モデルの推定部方じゃなくて推力状態になってる気がするんですけど。
1:40:25	これを制度化ターンが正しいと思うんですけど、図5違うということですか。
1:40:38	職員にこの時期です。はい。当図5-4の所定の位置がちょっと申し訳ありません。
1:40:45	はい。
1:40:48	あの中での中国電力の宮本でございます。
1:40:52	順番を言いますと、あの最高サイフォンブレイク配管の開口部がまずプール水低下によって開放してサイフォンブレイク指定でもととのFPC配管の配管の下端のところだと水位の低下は止まると、そういうことでございます。
1:41:20	規制庁の中で、その流れは承知した上で、説明の記載との整合があるので、直したの修正をお願いしたいんですけども、正しいほうに、
1:41:42	中国電力フジキですはい。申し訳ありませんあの図5-4はちょっと制定させていただきます。正しい図は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:51	補足説明資料のほうの通し番号 35 ページのほうにご理解いただいているような 下端のところに水が出てもらうというふうな可能性がありますのでこの内容に 入って訂正させていただきまして申し訳ございません
1:42:06	以上です。
1:42:07	規制庁の話でよろしくをお願いします。
1:42:23	関連は規制庁の義崎ですけど、今の関連で、
1:42:28	ちょっと確認なんですけど、補足説明の 36 ページ。
1:42:42	36 ページに、黒い線で、その黒い線の脚注のところは夫婦年齢プール冷却 系戻り配管とかでやって、
1:42:53	先ほども、本体側の説明のほうの図だと。
1:42:57	燃料プール冷却水供給配管とかいただいて、これは
1:43:02	違うものを指してるわけじゃないですよ。どっちかが間違ってるんですかね。
1:43:09	電力フジキ掲載、
1:43:13	補足説明資料の燃料プール冷却系戻り配管があったらC北になりますのでこ ちらで、
1:43:19	という意味で統一させていただきます。申し訳ございません。
1:43:23	戻り配管が正しい。
1:43:27	はい。で判断が正しいんじゃ本体が
1:43:31	そういうときに直してください。
1:43:35	それとですねこの図示しているところで丸いサイフォンブレイク配管設置場所 ってあるんですけど、この丸が何か上の、例えば 5 今比較表の 20 ページ。
1:43:47	近く 20 ページオオノ 4 だと。
1:43:50	取出しが格納プールより外側になるとちょっと細かいんですけど。
1:43:56	何か逆止弁がこのプールより外側にあるように見えて、そうするとこの丸の位 置が、
1:44:03	そう外になるのかなと思うんですけど、そうじゃないんですか。
1:44:13	少々お待ちくださいちょっと確認させていただきます。
1:44:40	中国電力に掲載コメントでして理解しまして前の位置はプールの外になります のでサイフォンブレイク設置場所は 15-4 の通り、逆止弁のところになります ので分言葉になりますのでつう 5-5。
1:44:57	及び補足説明資料の図 1-3 についても同様に外側に訂正させていただきます す。
1:45:05	はい。お願いします。
1:45:07	ちょっと比較表に戻っていただいて、105 ページ。
1:45:15	これ評価条件の(1)で、ここは潜航見ても貯蔵容量分、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:26	何大抵括弧で書いてあるんですけど、C真似は書いてない理由って何ですかね。
1:45:35	職員に黒字決算申し上げます補足説明資料側の4、通し番号40年から46ページのほうに、当然領域33518体配置されているものとするっていうふうな記載がございますので、同様の記載を、
1:45:51	本体側にも記載したいと思います。
1:45:55	以上お願いしますでちょっと分間可否に持っているのは差分が抽出されていないんですね。専攻等ここに記載が違うんだったらなんかしらの
1:46:12	確認があつて、これこれこういう例がなつてると、それ以外んならないんで、少し
1:46:20	もう少し他のヒアリングでも言われていると思うんですけど、差分の抽出はしっかりやっていただいて、それに対する説明を抜けなくやらないとヒアリングしてでも何か言っても意味ないんでそこはしっかりやるようにお願いします。
1:46:40	職員の育児掲載申し訳ございません。比較差分については、もう1回説明すべきところは説明させていただき、
1:46:48	それ、
1:46:49	以上です。
1:46:51	はい、あと少し飛んでですけども、8ページ、比較の8ページで、
1:46:58	この表4-1Gのところの文献値に基づいて、
1:47:03	線源強度を算出してんですけど。
1:47:06	これも文献値に基づいて手が下に※にあるんですけど。
1:47:10	南保付箋考慮文献値と比較して改善ですけど、ここは何でそういうを書いてないんですかね。
1:47:22	中国電力フジキ決済しませんあの文献値と比較して、
1:47:28	そうですね。負けません当社においては日
1:47:35	企画そのものはやってございまして補足説明資料側で比較を載せてさせていただいてるんですけどもそこに期待していなかったのもので、
1:47:45	ちょっとそこ同様の記載とさせていただきたいと思います。
1:47:49	以上です。
1:47:51	はい。
1:47:52	一方私程度しか
1:48:01	規制庁の中村です。
1:48:04	比較表のページの
1:48:06	本ページの表示についての評価条件ね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:10	3で使用済み制御棒は遮へい能力は構造物小さい図とみなすっていうふうに書いてあるんですけども、先行の記載ではあるんですが、この青POと教えていただいてもよろしいですか。
1:48:28	記憶に告示ケースはい。
1:48:33	Steam済みでこれ線源として考慮している使用済み制御棒等の汚染源として放射線を
1:48:42	汗させる減の宮本でもあり同時に、自己遮へい能力と自己遮へい効果といいまして、自分自身の密度によってその放射線を遮へいする効果を持っておりますので、自己遮へいの能力として、
1:48:57	またせる能力として
1:49:00	もともとのそのものの密度よりも低い水プール全体と同じ水と同じ密度で統一的に今日効率的といえますかといえますか保守的な水とみなして評価しているという意味でございます。以上です。
1:49:17	規制庁ナカムラです。はい。4と仕事はわかりました。ちょっと
1:49:24	EMCOMも同じ記載ではあるんですが
1:49:27	3点にちょっと逃げ制御棒使用済み制御棒の線源として評価制度に使用済み制御棒はから始まって、
1:49:36	遮へい能力は構造物の行き先とみなすというふうに書いてあるんで、今御説明されたことを自己遮へいとか、そういう能力があるので、そこは刻みとみなすっていうことがわかるように記載をいただければと思うんですけどいかがでしょうか。
1:49:56	よく電力フジキ浅井同じか、3.のところで、
1:50:01	今ほどおっしゃっていただいた内容を記載させていただきたいと思います。
1:50:07	規制庁の義崎です。今の同じページの備考のところで、島根2号機の制御棒ラックはクール経営部の保管でより制御棒ハンガー及び駿済み電流の影響に包絡されるっていうのは、
1:50:24	これは何かどっか図があるんですかね。
1:50:28	ここについて説明してください。
1:50:38	中国電力フジキで申し上げますねちょっと説明ちょっと続いておりませんので補足説明資料を
1:50:47	の
1:50:48	補足説明資料で図をちょっと追加させていただいて保管場所を明示するような形で対応したいと思いますがいかがでしょうか。
1:50:58	今ないんですよ。あればそうで、それをお願いします。
1:51:03	はい、わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:13	市長のヨシザキです。すいません、比較の 21 ページ。
1:51:19	サイフォンブレイク配管の詳細設計がところなんですけども。
1:51:25	これも先行等、記載も違って、評価の仕方もなんか書いてるようなんですけども。
1:51:35	線香等変えた理由を書いて変えた理由について説明する。
1:51:47	中国電力で今朝ちよつと確認なんですけど伊藤比較表の 21 から 20 にかけての耐震評価の部分についてでございますでしょうか。
1:51:55	はい、そうです。
1:51:58	ここからは一緒なのか違うのかということ。
1:52:01	うん。そこをまず説明しますか。
1:52:06	はい、中国電力のカンバラです。
1:52:08	欠けの 21 ページからの耐震評価の内容ですけれども、
1:52:14	評価の内容は先行プラントと同様です。人設計温度とか圧設計圧力そういったパラメータは、異なりますけど、評価の手法としては同じですね、細かいところで違つとすればあと表 6-2 の解析条件
1:52:31	こちらは元帥状態なのを減衰定数を設定するんですけども、こういったところが違つのは設備の構成がこれはいろいろとサポートの支持してる戸数が異なりますのでそういった個数は
1:52:49	4 個以上だったら住宅でこういう減衰定数を使ってよつてもそれはそれに当てはまらないときは 0.5 倍になるつというので、将来の場合は 0.5 銭コアサポートがもう少し言われてそれに相当した定数乗数を設定している、そういったところは違つんですけども、
1:53:06	当までアップで決まつた方法を用いて評価するつという観点では先行プラントと同様です。
1:53:13	22 ページについては非常力の評価と一次+2 の評価保管しては、と全く同じ式を用いていきますので、
1:53:22	こちらも同じものとなります。
1:53:27	以上です。
1:53:30	規制庁の義崎ですが、全く同じであればこのまま記載も同じにしていんじゃないかと思うんですけども、Ss機能維持要求を満足するようについうふうに書いているところが、
1:53:42	お受けに先行に先行例に従つて書けばいいのかと思うんですけども、これについては、同じであれば同じに、
1:53:51	できないんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:54	はい、中国電力のカンバラですと同様にすることはできます。この場合は備考欄に書いていますとおり、Sクラス以降の2ポツ目に記載しておりますけれども、当該配管はSクラスであれば、
1:54:11	方向での要求事項を踏まえて、体制としての評価方法のみを記載するという考えでこういうことになられたようにしましたけれども、
1:54:20	SクラスはSクラスですのでも先行と同様に記載。
1:54:24	することは可能ですのでここは見直すようにしたいと思います。以上です。
1:54:30	パッケージという責任がわかりました。なんか、変えるとですねその評価が違った評価するとか、何か。
1:54:38	ですからうん。
1:54:40	SD評価とか何かいろいろあるところをなんか端折ってるような、そういうとらえ方もされるので少し同じだったような事例が違うんだったら違う理由をちゃんと示して欲しいということですので、同じであれば、わかりました。ありがとうございました。以上です。
1:55:01	中国電力フジキです。すいません。先ほどご指摘いただいた内容でちょっと修正の方針についてちょっと相当確認させていただきたいんですけども、比較表20ページのところで、図5-5のサイフォンブレイク配管の設置位置というところで、丸の位置がちょっと違うんじゃないかということで御指摘いただいたんですけども、これ。
1:55:20	もともとね一つ確認したらですね、ちょっと紛らわしかったかと思うんですけど設置場所ってところが逆止弁の配管の取りつけている1というよりは、サイフォンブレイク配管の
1:55:36	機能といいますか
1:55:38	最後現象を配慮する部署としてそのプールに使っている部分、センターの配管の介護開口部の部分の位置を表しているということをいただいたこの場所に丸をつけていたものでございました。
1:55:53	そういう意味ではこの今の丸の場所でちょっと待っているというふうにはなるんですけども。
1:56:00	議会でもよろしいでしょうか。
1:56:02	規制庁ナカムラです。はい。これω-1は
1:56:08	開口の端部の位置ということはわかりましたが、そうなってくる塗装燃料プールの冷却系戻り配管が、
1:56:20	サイフォンブレイク配管の下を通ってるっていうような
1:56:26	10になってしまうと思うんですけども、その上の図5-4だと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:34	開口部に行く前に回っているような図になってましてそこもし剛性というのはどうなってるのでしょうか。
1:56:45	舌状例年必要でも言ったようでございます。日厳しい配管の戻りは事業に水中で影響しないところで、
1:56:56	残ってたりしますけども、評価に関係ないところございまして、誤解招くようなこと安全になってますので、全体をわかりやすく、
1:57:11	規制庁有責ですから今はその黒い棒みたいな、あるんですけど、それがFPCの
1:57:19	或いは他の
1:57:21	配管を指しているからこうなってるってそういうことですかね。
1:57:26	中国電力フジキさというわけではなくてですねちょっと今表してちょっと黒い1はちょっとプールの中でまた若干曲がってこういうふうなプールの中で、もう少し
1:57:39	上から見た図でちょっと長さがあるような構造になってはいるんですけども、ちょっと二度とわかりにくい形になっておりますので、ちょっと記載を読み上げさせていただきますかと思っております。以上です。
1:58:28	規制庁の中村さんの承知しましたのわかりやすくしていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:58:36	はい、承知しました。
1:58:48	規制庁の中村佐藤ナイトウ比較表の10ページなんですけれども、
1:58:54	どうしよう済み制御棒の線源強度評価条件のところ評価条件の総合以上で東海第2ヶ所のキーと記載があるんですけども。
1:59:04	ここの評価条件の市が
1:59:08	ていうのをもう
1:59:11	その下の
1:59:12	記載のように、なぜ違うのかっていうのも記載していただいでよろしいでしょうか。
1:59:25	すいません中国電力の山本でございますけれども、
1:59:31	この当社としての考え方につきましては設定も財布を見て
1:59:38	厳しいところを設定してますというお話なんですけども、
1:59:43	皆さんがちょっと設定ってなかなかところへわかりにくいところも、
1:59:48	あるんですけども、はい。
1:59:59	規制庁のナカムラの他社の政府兵庫県はそれで私はなぜ違うのかっていうのは、そういう誤解を招いたかもしれないですけども、違う評価条件そういうあれというのは確かなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:12	中国電力の設計なぜ評価条件としたのかっていうのを回議いただきたいんですけど。
2:00:23	中国電力のフジキです。はい。
2:00:28	表 4-3 のちょっと台数の考え方についてはちょっと
2:00:33	評価条件の相違のところに記載しておりまして、冷却期間が一番短いので、
2:00:40	等価のモデルサイクル冷却明確化運転サイクルと書いてあるところについては、実績ちゅう最大の取り出し本数を記載させていただいております。それ以外の 1 から 10 日間、旧サイクルのところについては平均的な取り出し本数、
2:00:56	実際グループとしては他による残りの本数として対数を
2:01:02	設定しております。そういうふうな考え方で一番この中で条件として、評価条件に一番影響が大きいのでのサイクル目のところですので、そこで実績最大のものを設置しているというところで、
2:01:14	評価条件としてはそういう評価条件を選定しております。
2:01:20	以上です。
2:01:26	規制庁ナカムラですとそこではなくてその上の評価条件のそういうところで、
2:01:35	どんだんなぜ評価条件にしたのかっていう下に記載と同様に、地方にも方針みたいなものを記載いただければと思います。よろしくお願ひします。廃墟べき了解いたしまして、ちょっとこの場合、少し口頭で御説明しますが、この消費者にすれば集中せ、
2:01:54	うち
2:01:55	中性子フラックスについては引っ張れあの評価。
2:02:01	新しい口座に評価。
2:02:03	結果も用いております、それを用いて日
2:02:09	商社期間については各抽出可能性制御棒の制限値市庁舎制限はありますのでそちらをFLACSではというような与え入れ照射機関が設定されております。そういう考え方については、考え方で設定されておりますので、そちらと記載させていただき、
2:02:30	規制庁中身はいよろしくお願ひします。
2:02:44	続いてのヨシザキの比較の 19 ページ。
2:02:50	確認だけなんですけど。
2:02:52	159 ページの一番下のポツで、
2:02:55	配管破断による通常水位から水位低下が増えて 3 号って、これはサイフォンブレイク配管の
2:03:04	ことだと思ふんですけど、配管破断によるっていうのは、これはもう背弧なんていうんならず、サイフォンブレイク

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:13	サイフォン現象が起きる。
2:03:15	ってことですかねなんかちょっと
2:03:17	これがサイフォンピークのこと言ってるのかとかよくわからなかったの、説明してもらいます。
2:03:27	中国電力のミナミダテです。
2:03:32	配管破断が起こった場合に必ずサイフォン現象が起きるのかというご質問だったかと思うんですけど、
2:03:40	燃料プール冷却系の戻り配管のほうには逆止弁が二つついておりまして、基本的にはこの逆止弁で
2:03:48	ことによって、その下端で配管破断が起こったとしてもサイフォン現象は止まるというように考えてます。ただプラス α の設備としまして、二つつけております逆止弁が働かなかった働かなかったときに、
2:04:03	働かない固着していた場合についても、サイフォンブレイク配管があり、サイフォンブレイク配管の下端、そして
2:04:12	の燃料プール冷却戻り配管の下端で必ずサイフォン現象を提出することができるとしているといったものになっております。
2:04:38	すいません地上でのヤマモトです。ここの記載の意図は、そういうサイフォン現象により、まあ水位低下が発生するかもしれないような箇所でのDPCほどの配管の破断と、そういうような人できてない高さに期待するもの。
2:05:03	規制庁の関沢多分相互のサイフォン現象による計画通りだということなんでなんか配管破断とか何かほかの
2:05:13	ほかのことだと。
2:05:15	思ってしまうので、
2:05:17	そこは何かサイフォン
2:05:20	サイフォン効果との関係が何かわかりづらくなってるんですけど、そこはなんか
2:05:26	工夫できないですかね。はい。このポールですのでこれはどこで使われるかというサイフォン現象に買い物弱者、
2:05:36	以下は発生しませんけれども、この会館というのはどういうものかということ
2:05:46	はい。
2:06:55	委員長ナカムラナイトウ比較表の10ページすみません先ほどちょっと聞けばよかったんですけども。
2:07:01	評価条件の相違で
2:07:06	表4-3名。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:08	Tpfl承諾済み制御棒操作実績をもとに、
2:07:13	どるサイクルを作業工数で1から9号サイクルを平均的に本数供給財布の
2:07:22	実際かどうかのようなこの本数とし設定っていうふうに
2:07:25	あるんですけども、
2:07:28	この評価はなんかを保守的にShortプラスその実際ゼロにして
2:07:36	1からすると例えば1サイクルとか、その本数をつくれればいいのかなと思うんですけども、そこは戻しなくてもいいという資料Cですか。
2:07:49	中央での宮本でございます。このそもそもの設定として
2:07:54	保守的に
2:07:58	有効性評価の一番初めの頃に
2:08:03	今の委員長離れた奥田委員長。
2:08:06	ほか、
2:08:07	残されたところではあるんですけど。
2:08:10	あまり非現実的に保守的すぎることによる弊害もあるねみたいな、このようなお話もあって、ある程度査定の現実的なところの保守的なところを狙おうとした結果でございます。
2:08:26	このような設定としましたのは、その先ほどのフジキが申し上げましたけれども、実際、
2:08:33	次に一番効くのがホテルサイクル。
2:08:37	でございます、赤の違うところってほとんど効かないんですけど。
2:08:41	そういうところまでですね、
2:08:44	あとHfなんかは、日サイクルの照射で相関するものでございませぬので、時コントロールせずに、ハプニング整理ばったんでございますけど。
2:08:56	大体13個の根本セルで運用するわけございまして、9本書いたらその基本変わるってことは、
2:09:05	耳もないので、本当のような現実的なものを想定するよりは、一番想定される厳しいところだけ最大
2:09:14	そこでされるけど本府設定してあとは平均的なもので評価することによって、
2:09:20	現実のところは十分包絡するだろうと、それから長さ、そういう考え方で設定したものでございます。以上です。
2:09:28	規制庁中野音声は現実的に会われない形になるっていうことはまず1最高機関でこのようなことで了解しました。
2:10:05	成長のヨシザキですけど、補足のほうで、
2:10:10	ちょっとすみません、冷却金のほうの附属へちょっと戻ってくるんですけど。
2:10:14	えっと、16ページ当時の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:18	はい。
2:10:21	6 ページの所ゾーン、(2)の燃料ふるいの膨れ量の評価例、
2:10:29	一番最後に南側と北側で復旧する場合は何ゆえって書いてあるんですけど。
2:10:35	これは 1 時間当たり
2:10:38	なんですかね、少しやっぱ
2:10:40	何人かいるけど、
2:10:43	1 時間当たりの有用なのかというのがよくわからなかったんですけど。
2:10:47	ここはどうなんですか。
2:10:50	中国電力のミナミダテです。すいませんここは 1 時間当たりの流量としての通知を記載しております。
2:10:59	ちょっと記載を適正化しても、
2:11:06	中国電力のミナミダテです承知いたしました。
2:11:29	規制庁中身の問題がちょっと疑問が教えていただきたいんですけども、比較表の 25 ページで
2:11:38	そういうコンクリート壁だけ水面が揺らぎで確認というふうに摺動蓋のKakehiのモデル配管から水を出すとサイフォンブレイク配管の方にも言って最初のレカム図が出るということよろしいですかね。
2:11:57	はい。
2:11:59	中国電力のミナミダテです。当御理解の通り
2:12:04	通常、
2:12:06	いや、燃料プール冷却系の戻り配管から燃料プールへ水が入るといふにはサイフォンブレイク配管にも水が通水して出ていく形になっております。そして燃料プール冷却系戻り配管のほうは、燃料プールに入ったとずっと下までええと燃料プールそこ辺りまで下がっ
2:12:26	そっから 90 度曲がったような形でそこに散水かがって散水
2:12:31	いうところで、
2:12:34	サイフォンブレイク配管のとか担当は 1 が大分離れてございますので、ピット水面の揺らぎを見ることでサイフォンブレイク配管から通水されているということが確認できるというような状況になっております。
2:12:51	規制庁の中村さんと承知しました先生で、ちょっと誤字があったんで、25 ページのサイフォンブレイク配管になって、そこは修正をお願いします。
2:13:09	ショットも中国電力ミナミダテです。申し訳ございませんでした修正いたします。
2:13:36	規制庁の話と全然こちらからは以上ですけれども、地方にいる方が何かありますでしょうか。
2:13:48	中国電力ミナミダテです特にございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:04	それではこちらの特にありませんのでヒアリングのほうは終了させていただきます。ありがとうございました。それではした。
2:14:14	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。